

水戸・東京・八王子地本の 再建に向けて奮闘中!

2月10日に開催した第46回定期中央委員会以降、水戸・東京・八王子地本に本部派遣を行い、再建に向けて取り組んでいます。各地本の仲間たちの奮闘を紹介します!

【水戸地本】原ノ町支部再建!

4月27日に原ノ町支部が再建総会を開催し、隣接する仙台支部や福島支部の仲間も激励に駆け付けました。再建準備から担い、原ノ町支部執行委員長に就任した吉田さんの決意を紹介します。共にがんばりましょう!

新生JR東労組・原ノ町支部再建に向けて
原ノ町支部執行委員長・吉田浩美

18春闘では職場の組合員の声を踏まえずに戦術行使が優先された結果、多くの組合員はJR東労組への信頼を失い脱退が相次ぎました。このような中でも当時の水戸地本は、18春闘を真摯に総括できませんでした。本部による「18春闘大敗北総括」は、職場の組合員の声を無視し、原則的な方針を打ち立てた結果、大量脱退を引き出してしまったことを主体的に反省した姿であり、これを見てあらためてJR東労組の旗をしっかりと守っていこうと決意しました。

18春闘後、多くの組合員は不当労働行為がある中で「抜けて抜けるのではない」「本当は頑張りがかった」と言っていたので、まじめな組合員とともに「一つになって頑張ろう」と訴え続けてきましたが、2年が経過したときに今回の組織破壊策動・分裂が発生しました。JR東労組に残り「みんなで頑張ろう」と決意してきたのに「何故だ」と怒りがわきました。

私自身は、国鉄改革を経て今日まで「いい組合を作ろう」とJR東労組運動を担ってきた想いがあったので、「JR東労組を壊されてたまるか」という気持ちで、組合員との議論をつくり、「分裂組織には行かない」「JR東労組に残ろう」「これまでのようにみんなが寄り添えるJR東労組を創造しよう」と訴えてきました。

そして、原ノ町支部の中で、JR東労組の拠点を残そうと副委員長の岩橋さんを含めた仲間たちと議論を重ね、「新生JR東労組運動宣言」の実践を目指し、4月27日に再建することができました。

支部再建に際して、多くの激励・連帯をいただきありがとうございました。



【東京地本】不正を許さず、組合員と共に前進します!

2月27日に暫定執行部を確立し、活動拠点をつくるために苦労しました。逃亡していった元役員らによって便宜供与を解除され、手を付けられないほど酷い状態の東京地本事務所の便宜供与を復活させ、4月中旬ごろには近隣地本やOB会の皆さんの協力により、やっと事務所としての機能を取り戻してきました。

また、元役員はダイヤ改正の申し入れを提出したまま逃亡していったので、私たちが団体交渉を行いました。議論に必要なデータも資料も処分されているなど、嫌がらせとしか言えない状況下の中でしたが、組合員の協力を得ながら建設的な議論をつかってきました。

また、相互扶助と言われる共済の割戻金も数年に渡って多数の方に支払われていない事や、東京地本、支部、分会の組合費の不正使用なども発覚しています。組合員の不利益にならない様にしっかりと対処していきます。

東京地本は、彼らが意図的に積み残してきた総合共済の対応や、JR貨物労組やJR東海労、システム労、鉄研労などのJR総連都協や外部との関係づくりも行い、組合員が安全で、安心して働けるよう奮闘していきます。今後は、新型コロナウイルスに対する組合員からの意見を集約し、さらに働きやすい環境をつくっていきます。

新生東京地本ニュースも随時発行し、みなさんに情報発信していきますので、東京地本のホームページをぜひご覧ください。

【八王子地本】組合員の声に基づいたJR東労組運動を展開中!

八王子地本は、本部派遣と「組合員のためのJR東労組を守る八王子の会」の仲間と共に、組織の再構築をめざし運動を展開してきました。3月12日には「暫定執行部」を確立し、組合員との対話や情報宣伝活動など積極的に取り組んでいます。

現在、新型コロナウイルスが猛威を振っています。八王子地本は、組合員の皆さんが生活している中で身近に感じる不安や、職場内、業務面で抱えている不安など、新型コロナウイルスに関する不安要素を1つでも多く解消するために、アンケート調査の実施を決定し取り組んできました。系統を問わず多くの組合員・社員が、様々な声を届けてくれました。私たちは、その声に基づき労使議論や職場討論を継続的に行っていきます。

また、JR総連総合共済の給付も再開され、分会が機能していない現実の中、対象となる組合員に直接手渡しをする活動を行っています。直接会っていろいろな話を聞かせていただき、職場の現実を目の当たりにし、地本としての課題も明らかになってきました。

組織分裂以降、八王子地本に再加入していただいた仲間がいます。私たち八王子地本は、JR東労組の旗の下に組合員を結集させるために、不正や虚偽を許さず、正直に真実を伝え、組合員との信頼関係を再構築していきます。そして、「新生JR東労組運動宣言」の4本柱に基づき、組合員の「雇用と利益」を守るためにともに実践します。

些細なことでも、悩みや不安、困ったことがあれば1人で考えず、八王子地本まで連絡してください!共にがんばりましょう!

JR東労組の運動を みんなで推し進めていこう!!

JR東労組は、「新生JR東労組運動宣言」のもと、全組合員の運動を展開し、組織の強化・拡大の取り組みを行っています。

JR東労組運動の基本は分会活動であり、根幹にあるのは組合員の声です。組合員一人ひとりの力は弱いかもかもしれませんが、団結することで大きな力になります。そして、組合員一人ひとりは、それぞれ様々な力を持っています。個人の得手不得手を認め合い、お互いの力を伸ばしていくことも、より大きな強い力にしていく大事な要素です。分会活動以外にもいろいろな活動があります。多くの仲間と様々な活動に参加し、仲間と共にJR東労組運動を推し進めていきましょう!

業職種別部会・分科会運動

組合員の声、職場現実を掴むため、JR東労組には、分会・支部・地本・本部(職場・分会、地区・支部、支社・地本、本社・本部)という縦系列の組織と、業職種別部会(営業、運車、工務、かんり、きかく、医療)および、各部会内で職種を細分化した分科会(例えば、運車部会の中に車掌分科会、運転士分科会、工場分科会、事務分科会など)という横系列の組織があります。

部会・分科会には、系統別の業務問題を中心に運動を展開しています。例えば、営業部会の場合では、〇〇駅で発生した問題について営業系統の専門的な問題として、駅分会同士が連携して解決をめざしていきます。

JR東労組は、縦と横の連携をとりながら各種課題について、問題集約、議論、検証運動をつくり出していきます。多くの仲間と連携し、共に「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある、よりよい職場をつくっていきましょう!

サークル活動

JR東労組では労働条件の向上に向けた取り組みだけではなく、サッカー部・バスケットボール部・軟式野球部などのスポーツ系の部が13部、文芸部・写真部・絵画部・レールクラブなどの文化系のサークルが7つあります。

学生時代などで経験した方はもとより、初心者の方でも楽しめるサークル活動は、12地本の対抗戦や各地本内での予選なども開催され、職場の中でも親睦を深めるために新入組合員の歓迎会の際にも開催されています。このように職場の中でも気軽に参加できるものです。

労働組合の活動には団結力を高めることが重要ですが、サークル協議会各部の活動に参加して仲間の絆を深めることも重要です。また、各部では毎年大会や総会を開催し、労働組合活動への理解を深める学習も行っています。

JR東労組に結集する仲間たちと、「明るく・楽しく・元気よく」をモットーにサークル活動を通して信頼関係を深めていきましょう。サークル活動へぜひご参加ください!

